

平成25年度北陸地区国立大学学術研究連携支援報告書

研究グループ名	北陸地区国立大学知財戦略研究会 (支援期間：平成23年度～平成25年度)		
大学名	所属	氏名	
富山大学	地域連携推進機構／産学連携部門	○千田 晋 金田 佳己 小谷 晴美	
金沢大学	先端科学イノベーション推進機構 ／産学官連携・知財推進グループ	○分部 博 澤村 奏絵 渡辺 奈津子	
福井大学	産学官連携本部知的財産部	○法木 左近 高岡 勉 玉村 安沙美	
北陸先端科学技術大学院大学	産学官連携総合推進センター	○山本 外茂男 稲本 康	
※ 各大学の研究グループ責任者の氏名には○印。			
その他の 機関の 構成員	機 関 名	所 属	職 名
成果概要	<p>北陸地区国立大学知財戦略研究会（H23・H25）の主な活動</p> <p>1. 目的 北陸4大学を核とした産学官連携のあり方に向けた調査研究</p> <p>2. 達成目標 自立化促進事業が終了し、今後、個々の大学の枠をこえた産学官連携の推進が求められる状況下、目的達成のため下記事項を活動目標とした。</p> <p>①4大学の産学官連携部門の組織・人材・業務上での具体的連携の実現 ②各大学の協力企業と4大学間との関係強化による北陸地区の産学連携樹立 ③4大学と北陸3県の自治体との北陸地区産学官連携強化 ④4大学、北陸地区の他大学・企業に向けた定期的啓発セミナー実施</p> <p>3. 今年度の取組 ①産学連携人材の雇用・育成、産学連携業務の統一化・共有化の検討 ②北陸4大学を核とした北陸3県での産学官連携の推進 (3県の企業(各大学の協力企業)・自治体-4大学) ③北陸地区企業・大学に対する上記取組成果の提供、セミナーの実施</p> <p>4. 活動内容 ①各校の保有知財(単独出願特許等)の活用のための考え方、方策を協議。今後、論文までを含めた知財のマップ化が有用である事例を確認した。 ②各校の“振興会組織”と連携した企業向け知財活用目的での活動を行った。(例、公開前特許案件の紹介 他) ③各校の関心の深いテーマで外部専門家を講師とする講演会を開催した。(H25年度を例示) ・金沢大学：知財は企業・大学にとって有益なのか？(パナソニック株式会社 志村勇氏) ・富山大学：産業財産権として見た大学の知財(酒井国際特許事務所 酒井弁理士) ・北陸先端大学：知財業務のアウトソーシング(NRI サイバーパテント(株) 平松マネージャ) ・福井大学：大学の知的財産を企業に技術移転するのに大切なこと(関西 TLO(株) 大西社長)</p> <p>各回とも関係者に加えて、学内外、地域企業からの参加者あり。盛会であった。 今後は各校の知的財産の有効活用について連携した方策を検討していく。</p>		
獲得した外部資金	なし		